

千葉県知事 森田 健作 様

令和2年4月30日
日本生命保険相互会社
千葉支社長
山岡靖典

2019年度活動状況報告書

2019年度の当社取組につきまして、以下の通りご報告いたします。

1. 高齢者の見守り

千葉県内2支社管内（千葉支社・船橋支社）の33拠点、1100名の営業職員が、日々の営業活動・ご契約内容確認活動等で高齢者と接する際、積極的に高齢者へお声掛けを行うように指示を行い、高齢者見守り活動に取り組みました。

又、弊社OB組織である「喜楽会」の総会においても、高齢者の見守り活動に取り組んでいることを伝え、高齢者への声掛けに取り組みました。

2. 「ちばSSKプロジェクト」の普及・啓発

協定締結店ステッカーを、県内ライフプラザ等に掲示しました。

「ちばSSKプロジェクト」のチラシを営業活動時に配布、お客様との会話でも積極的にお知らせしました。

又、「高齢者孤立化防止県民シンポジウム」のビラを職員に配布し、お客様訪問の際に配布する活動を行いました。

3. 認知症対策

当社職員が、積極的に認知症サポーター養成講座の受講を行いました。

令和元年度末の認知症サポーター養成数は、以下の通りです。

- ・千葉支社 37名
- ・船橋支社 23名

4. 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

がん検診の受診をおすすめするチラシや、その他健康情報をお知らせするチラシを営業活動時に配布し、健康診断やがん検診の受診啓発に取り組みました。

5. 高齢者の安心・安全

生命保険協会を通じ送付されました特殊詐欺防止に関するチラシを街頭告知活動並びに営業活動を通じて配布し、特殊詐欺の注意喚起に取組みました。

又、生命保険協会と連携し「青年後見人に関するセミナー」を開催しました。

以上